

# 【建築基準法】 接合部

建物名 ○○ ○○様邸

柱頭柱脚金物算定表（1階柱）

~~柱頭柱脚金物算定表（2階柱）~~

使用金物一覧

柱頭柱脚金物算定平面図

柱頭柱脚金物算定立面図

## ■注意事項

- 平成12年建設省告示第1460号「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」第二号のただし書きにより接合金物を求める方法に準拠した計算を行います。
- N値計算において、1階の柱のN値について、その真上の2階柱の金物のN値が大きい場合、1階柱の金物は2階の柱の金物同等以上としています。
- 倍率の異なる耐力壁が直交して取り付く場合は、平面におけるX方向とY方向を区分してそれぞれ必要となる金物を選択し、耐力の大きい方の金物を採用します。
- 2階柱の下に柱が無い場合については、以下のいずれかの方法を選択して計算を行うことができます。
  - 1m以内の範囲にある1階柱が下にあるものとして計算する。
  - 1階の両側の柱が2階柱の引抜力を負担するものとして計算する。
- 同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物(金物が(に)以上の場合)について、以下のいずれかの方法を選択して計算することができます。
  - 同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物をそろえる
  - 同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物をそろえない
- 接合部金物は設計者が任意に登録することが可能です。
- 利用者におかれましては、公的な認定や性能試験を受けているものであること、また性能試験時の構造体の条件等が合致する場合においてのみお使い下さい。

(株) SekkeiSupport

# 柱頭柱脚金物算定表 (1階柱)

日付: 2025年03月05日 18:48:40

建物コード: 000002

建物名: ○○ ○○様邸

柱	方向	1階					2階					L	N	接合金物		
		柱状況	パターン	補正値	A1	B1	柱	柱状況	パターン	補正値	A2			B2	柱頭	柱脚
1	Y	下屋/出隅	4.0 ×	0.0	0.0	4.0	0.8						0.4	2.80	(と)	(と)
5	X	下屋/他柱	0.0   × 4.0	0.0	4.0	0.5							0.6	1.40	(に)	(に)
	Y		2.0 /	0.0	0.5	2.5								0.65		
6	X	下屋/他柱	4.0 ×	0.0	0.0	4.0	0.5						0.6	1.40	(に)	(に)
7	X	下屋/他柱	0.0   × 4.0	0.0	4.0	0.5							0.6	1.40	(に)	(に)
8	X	下屋/他柱	4.0 ×	0.0	0.0	4.0	0.5						0.6	1.40	(に)	(に)
	Y		2.0 /	0.0	0.5	2.5								0.65		
9	Y	下屋/他柱	2.0 /	0.0	0.5	2.5	0.5						0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
10	Y	下屋/出隅	4.0 ×	0.0	0.0	4.0	0.8						0.4	2.80	(と)	(と)
11	Y	下屋/他柱	0.0 /   2.0		-0.5	1.5	0.5						0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
14	Y	下屋/他柱	0.0   / 2.0		-0.5	1.5	0.5						0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
15	Y	下屋/他柱	0.0   × 4.0	0.0	4.0	0.5							0.6	1.40	(に)	(に)
16	Y	下屋/他柱	0.0   × 4.0	0.0	4.0	0.5							0.6	1.40	(に)	(に)
17	Y	下屋/他柱	2.0 \   / 2.0		0.0	0.0	0.5						0.6	-0.60	(い)	(い)
20	Y	下屋/他柱	4.0 ×	0.0	0.0	4.0	0.5						0.6	1.40	(に)	(に)
21	X	下屋/他柱	0.0   × 4.0	0.0	4.0	0.5							0.6	1.40	(に)	(に)
22	X	下屋/他柱	4.0 ×	0.0	0.0	4.0	0.5						0.6	1.40	(に)	(に)
24	Y	下屋/他柱	0.0   \ 2.0		0.5	2.5	0.5						0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
26	X	下屋/他柱	0.0 /   2.0		-0.5	1.5	0.5						0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
27	X	下屋/他柱	2.0 /	0.0	0.5	2.5	0.5						0.6	0.65	(に)	(に)
	Y		0.0   × 4.0	0.0	4.0									1.40		
30	Y	下屋/他柱	4.0 ×	0.0	0.0	4.0	0.5						0.6	1.40	(に)	(に)
35	X	下屋/他柱	0.0   × 4.0	0.0	4.0	0.5							0.6	1.40	(に)	(に)
36	X	下屋/他柱	4.0 ×	0.0	0.0	4.0	0.5						0.6	1.40	(に)	(に)
38	Y	下屋/他柱	4.0 ×	0.0	0.0	4.0	0.5						0.6	1.40	(に)	(に)
39	Y	下屋/他柱	0.0   × 4.0	0.0	4.0	0.5							0.6	1.40	(に)	(に)
40	Y	下屋/他柱	0.0   × 4.0	0.0	4.0	0.5							0.6	1.40	(に)	(に)
43	X	下屋/他柱	0.0   × 4.0	0.0	4.0	0.5							0.6	1.40	(に)	(に)
44	X	下屋/他柱	4.0 ×	0.0	0.0	4.0	0.5						0.6	1.40	(に)	(に)
47	Y	下屋/他柱	2.0 \	0.0	-0.5	1.5	0.5						0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
48	Y	下屋/他柱	2.0 \	0.0	-0.5	1.5	0.5						0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
49	X	下屋/出隅	0.0   \ 2.0		0.5	2.5	0.8						0.4	1.60	(ほ)	(ほ)
50	X	下屋/他柱	2.0 \	0.0	-0.5	1.5	0.5						0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
51	X	下屋/他柱	0.0 /   2.0		-0.5	1.5	0.5						0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
52	X	下屋/他柱	2.0 /	0.0	0.5	2.5	0.5						0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
54	X	下屋/他柱	0.0 /   2.0		-0.5	1.5	0.5						0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
55	X	下屋/他柱	2.0 /	0.0	0.5	2.5	0.5						0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
56	X	下屋/他柱	0.0   \ 2.0		0.5	2.5	0.5						0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
57	X	下屋/他柱	2.0 \	0.0	-0.5	1.5	0.5						0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
	Y		0.0   \ 2.0		0.5	2.5								0.65		
58	Y	下屋/他柱	0.0   \ 2.0		0.5	2.5	0.5						0.6	0.65	(ろ)	(ろ)

**■記号の説明**

- ・「方向」… 柱に斜め方向の耐力壁が取り付け場合は方向が「Z1方向」「Z2方向」となります。(最大斜め2方向まで)
- ・「パターン」… 柱両側の耐力壁の取り付けを表しています。 X:筋かいダブル /:筋かいシングル □:面材耐力壁
- ・「パターン」… #は、同位置の耐力壁の合計壁倍率を上限値の7.0に低減して計算していることを表しています。
- ・「2階 柱状況」… ( ) 表記は、1階の柱から見た2階の柱の平面位置を表しています。
- ・「接合金物(柱頭・柱脚)」… #は1階柱の金物をよりN値の大きい2階柱の金物に合わせたことを表しています。  
(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)  
※は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭の金物に揃えたことを表しています。  
(1つの金物で上下階の柱を接合するため)  
\*は設計者により編集された金物を表しています。(自動設定された金物以上の金物を選択)

**■計算条件**

- ・2階柱の下に柱がない場合の計算方法 → 1m以内の範囲にある1階柱が下にあるものとして計算する。
- ・同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物をそろえる。 ※ただし、金物が(に)以上の場合

# 使用金物一覧

日付: 2025年03月05日 18:48:40

建物コード: 000002

建物名: ○○ ○○様邸

## ■ 柱頭柱脚接合部金物

N値	告示表三	金物名	略称	注意事項(認定番号)	金物数量(箇所)		
					1階	2階	合計
0	(い)	短ほぞ差し又はかすがい打ち、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	カスガイ		46	0	46
~0.65	(ろ)	長ほぞ差し込み栓又はかど金物CP-L、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	CP-L		30	0	30
~1.0	(は)	山形プレートVP又はかど金物CP-T、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	VP		0	0	0
~1.4	(に)	羽子板ボルト又は短冊金物(スクリーナなし)、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	SB-F2		36	0	36
~1.6	(ほ)	羽子板ボルト又は短冊金物(スクリーナあり)、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	SB-F		2	0	2
~1.8	(へ)	10kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B10		0	0	0
~2.8	(と)	15kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B15		4	0	4
~3.7	(ち)	20kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B20		0	0	0
~4.7	(り)	25kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B25		0	0	0
~5.6	(ぬ)	15kN引き寄せ金物×2、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B15X2		0	0	0
5.6超	(一)		N>5.6		0	0	0

・設計者が任意に追加、編集した金物の行は網掛け(□)で表示されます。

## ■ 筋かい接合部金物

筋かい種類	接合部記号	金物名	金物数量(個)
筋かい(45×90)	SS6	筋かいプレート(BP-2) 同等認定金物等	62

・筋かいがシングルの場合は金物数量は「2」、ダブルの場合は金物数量は「4」とカウントされます。

・設計者が任意に追加、編集した金物の行は網掛け(□)で表示されます。

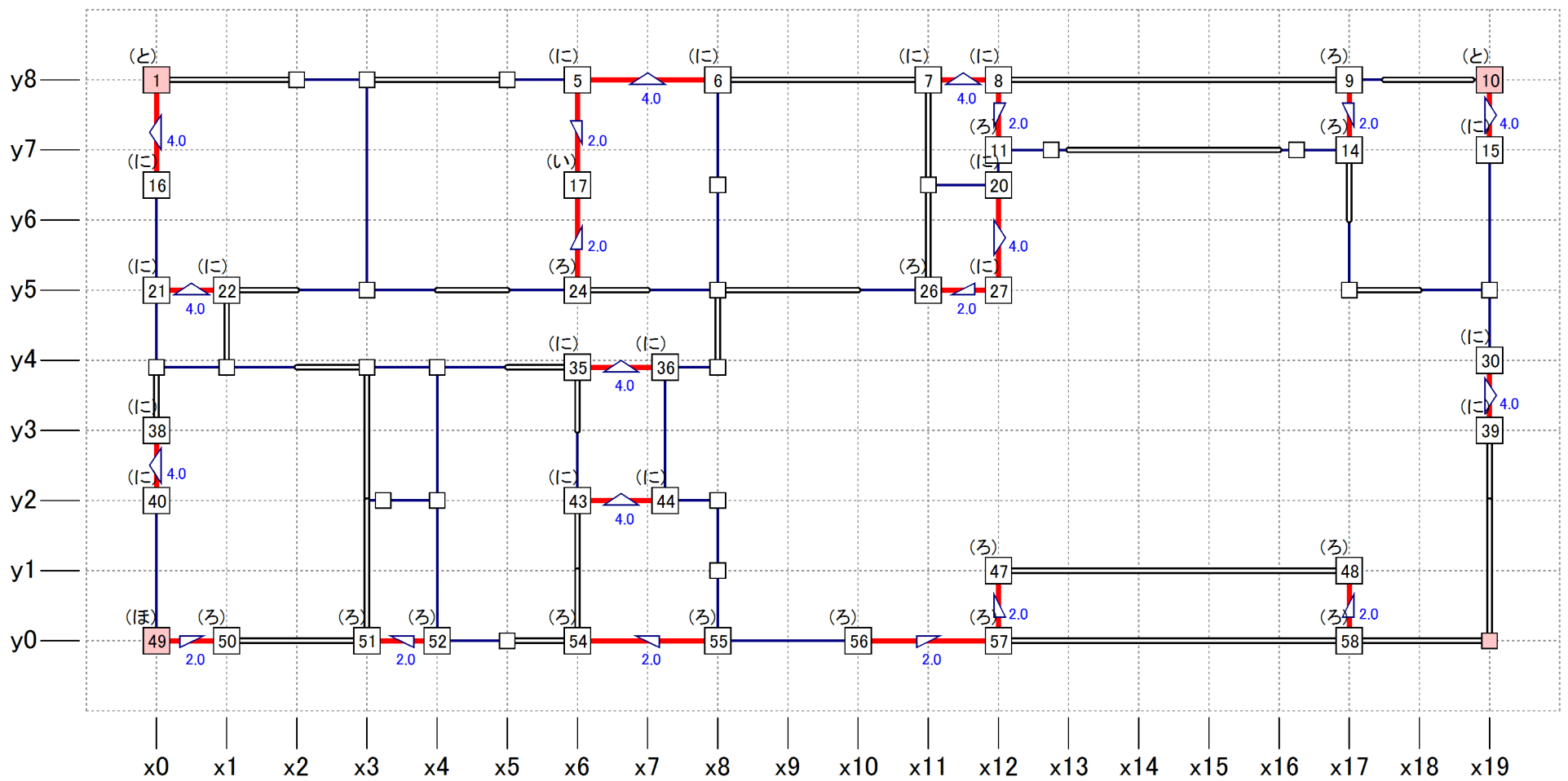
# 柱頭柱脚金物算定平面図

日付: 2025年03月05日 18:48:40

建物コード: 000002

建物名: ○○ ○○様邸

1階



縮尺 1/80

**凡例** 一般壁 開口部 面材耐力壁 大臣認定耐力壁 筋かいダブル 柱頭 柱脚 筋かいシングル 検査柱 検査外柱  
 (い) カスカイ (ろ) CP-L (は) VP (に) SB-F2 (ほ) SB-F (へ) HD-B10 (と) HD-B15 出隅柱 通し柱 ※検査外柱は(い)の金物を使用する。  
 (ち) HD-B20 (り) HD-B25 (ぬ) HD-B15X2 (ー) N>5.6 ※印の金物は2階柱脚を1階柱頭に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)  
 #印の金物は1階柱を2階柱に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)

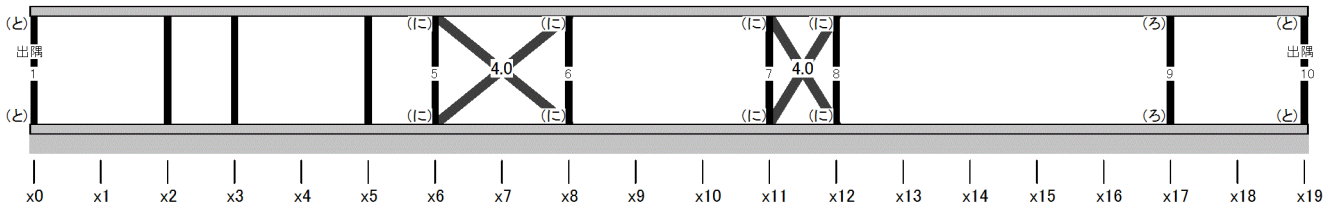
# 柱頭柱脚金物算定立面図

日付: 2025年03月05日 18:48:40

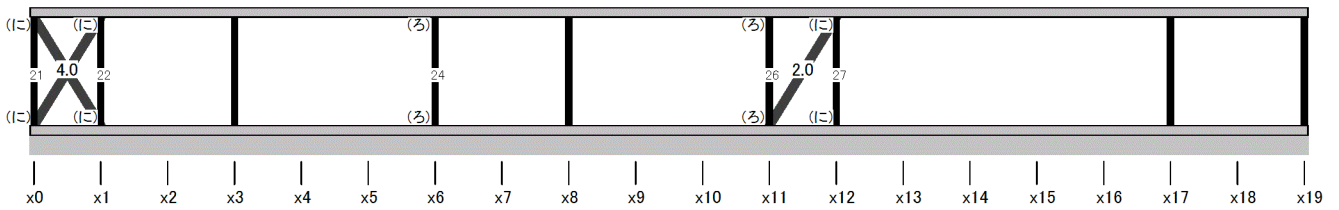
建物コード: 000002

建物名: ○○ ○○様邸

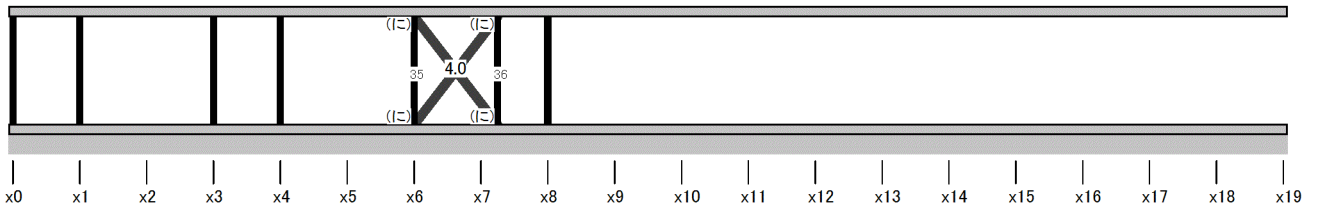
## ■y8通り



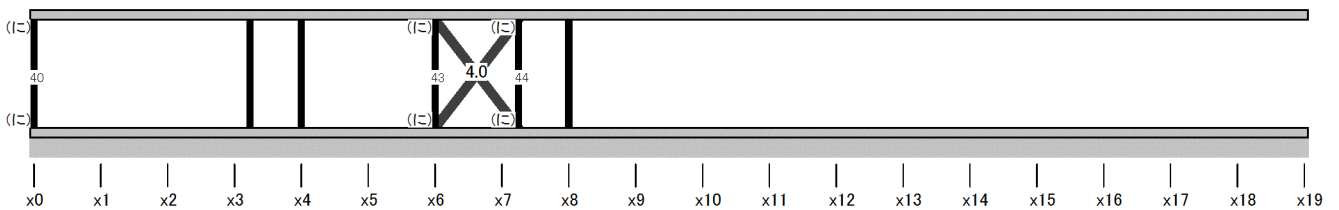
## ■y5通り



## ■y3'通り



## ■y2通り



凡例 (い) かがイ (ろ) CP-L (は) VP (に) SB-F2 (ほ) SB-F (へ) HD-B10 (と) HD-B15  
 (ち) HD-B20 (り) HD-B25 (ぬ) HD-B15X2 (一) N>5.6

\*印の金物は設計者により編集された金物を示す。(自動設定された金物以上の金物を選択)  
 ※印の金物は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭金物に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)  
 #印の金物は1階柱金物をよりN値の大きい2階柱金物に合わせたことを示す。(2階柱の引抜き力を土台・基礎に伝達するため)

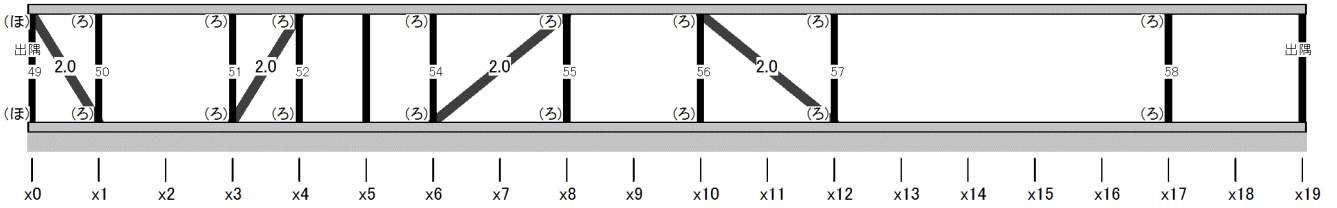
# 柱頭柱脚金物算定立面図

日付: 2025年03月05日 18:48:40

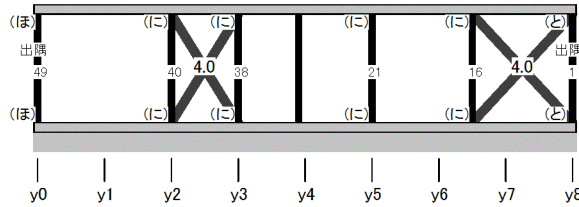
建物コード: 000002

建物名: ○○ ○○様邸

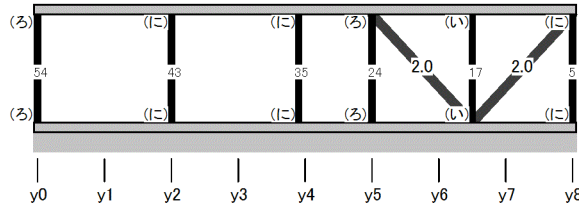
## ■y0通り



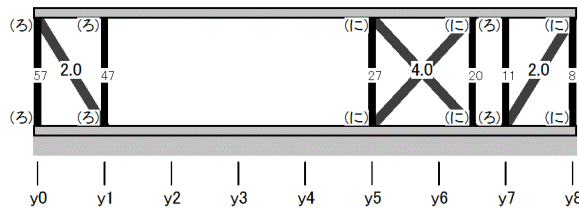
## ■x0通り



## ■x6通り



## ■x12通り



凡例 (い) かがい (ろ) CP-L (は) VP (に) SB-F2 (ほ) SB-F (へ) HD-B10 (と) HD-B15  
 (ち) HD-B20 (り) HD-B25 (ぬ) HD-B15X2 (一) N>5.6

\*印の金物は設計者により編集された金物を示す。(自動設定された金物以上の金物を選択)  
 ※印の金物は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭金物に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)  
 #印の金物は1階柱金物をよりN値の大きい2階柱金物に合わせたことを示す。(2階柱の引抜き力を土台・基礎に伝達するため)

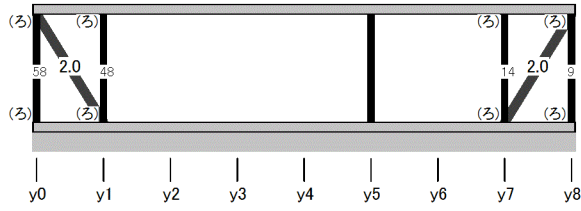
# 柱頭柱脚金物算定立面図

日付: 2025年03月05日 18:48:40

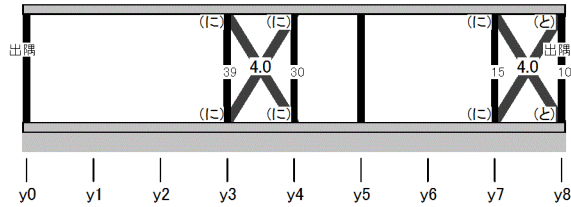
建物コード: 000002

建物名: ○○ ○○様邸

## ■x17通り



## ■x19通り



凡例 (い) かがい (ろ) CP-L (は) VP (に) SB-F2 (ほ) SB-F (へ) HD-B10 (と) HD-B15  
 (ち) HD-B20 (り) HD-B25 (ぬ) HD-B15X2 (一) N>5.6

\*印の金物は設計者により編集された金物を示す。(自動設定された金物以上の金物を選択)  
 ※印の金物は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭金物に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)  
 #印の金物は1階柱金物をよりN値の大きい2階柱金物に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)